

キトラ古墳の整備に係る既発掘墓道部分の活用の可能性

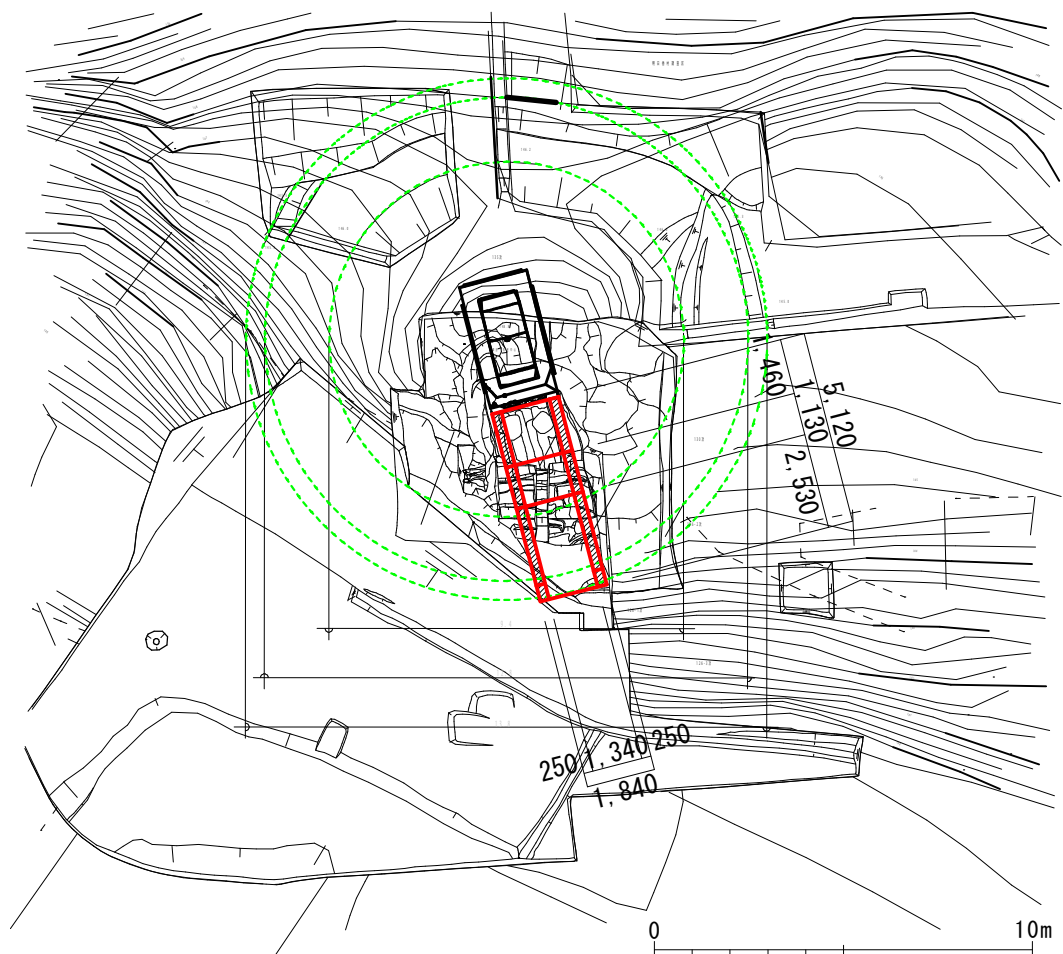
○キトラ古墳は、高松塚古墳と比べても墳丘の規模が大変小さい
(添付資料参照)。

○このため、仮に発掘調査成果に基づく復元(本来の墳丘の規模に盛土整備)をしたとしても、墳丘の外観に影響を与えずに既発掘墓道部分に何らかの施設を設けるための空間を確保できるのは、高さ 1.59m×幅 1.34m×奥行き 1.46m程度が最大規模となり、きわめて狭小である(添付資料参照)。

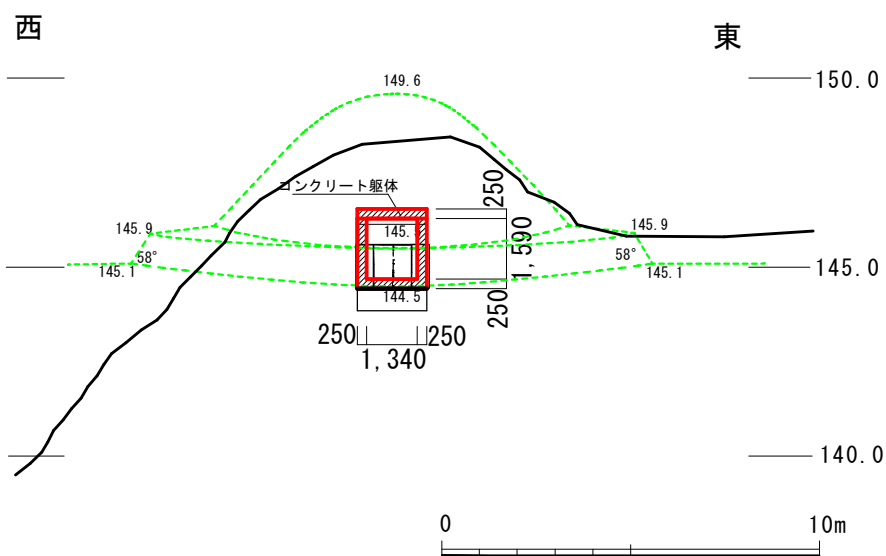
○本検討会における過去の議論の中では、石室に異質な空間・素材等が接することによる悪影響への懸念等が指摘されている。

○キトラ古墳の整備に係る既発掘墓道部分の活用について検討する際には、上記の事項を十分に踏まえる必要がある。

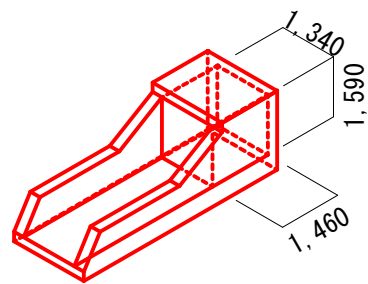
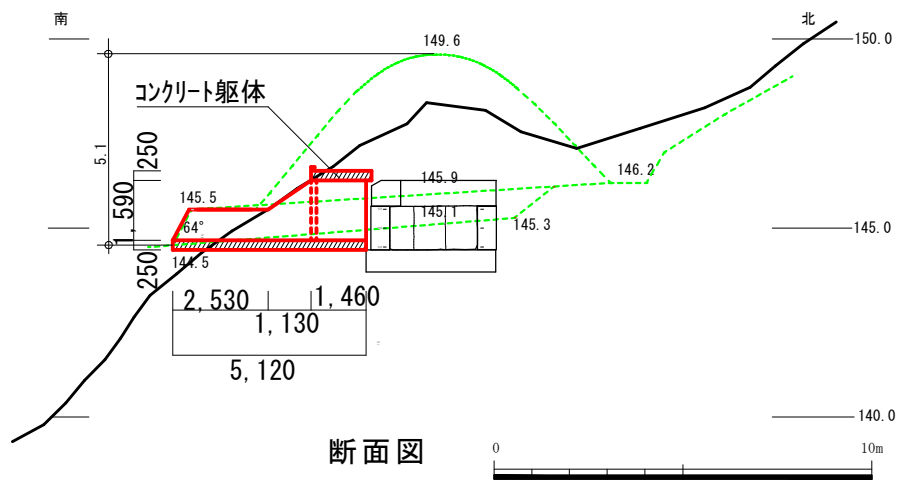
既発掘の墓道部分に想定可能な施設規模について



平面図



正面図



高松塚古墳南北断面図(遺構+整備前+復元図)参考

